

1 放火

【関連章第3章1】

事例 「放火により屋外のごみ等が焼損した火災」

出火時分 3月 1時ごろ

用途等 非該当

被害状況 コンテナボックス、段ボール等焼損

概要

この火災は、路上のごみ等から出火したものです。

出火原因は、何者かが何らかの火源を使用して、路上に置かれているごみ等に放火したものです。

出火箇所付近の繁華街を巡回中の警察官が、路上に置かれているごみから炎が上がっているのを発見しました。

火災を発見した警察官は、所持していた携帯電話から119番通報を実施しました。

警察官は通報と同時に警察署へ無線報告を行い、連絡を受けた付近の交番に勤務している警察官が消火器を搬送し、初期消火を実施しました。

教訓等

今回の火災は、繁華街の店舗の従業員が不要なごみを路上に置いていたため、何者かに放火されたものです。

放火火災は、長期間放置されたごみや夜間の人通りの少ない時間帯や人の目のつかない場所で発生しやすい傾向にあります。

放火火災を予防するためにも、敷地内や建物内、外周部には不必要に可燃物等を置かない、夜間にごみ置き場へごみを捨てないことなどを心がけましょう。また、周囲に防犯カメラが設置されていることを周知したり、地域のコミュニケーションを深め、防火防災意識の向上を働きかけることで、放火火災の予防につながります。

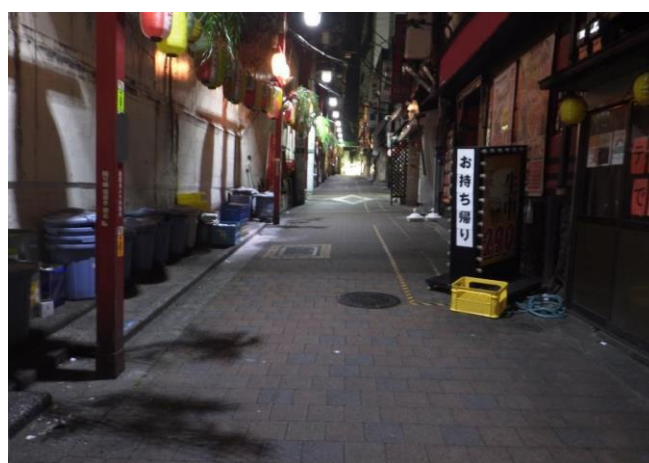


写真 1-1 繁華街の状況



写真 1-2 ごみ等の焼損状況